

平成28年3月18日

平成28年度 札幌工科専門学校自己評価結果

1. 教育理念・教育目標

教育理念

少人数制教育による親切・丁寧・分り易い教育

教育目標

- ・基礎学力の向上
- ・専門の基礎知識・技術の習得
- ・社会人になるためのマナーと教養を身につける

2. 昨年度の自己評価による本年度の課題

- ・教育活動、学修成果および学生支援について、時間が充分に取れていない。
- ・平成28年同窓会開催に向け準備を行う。
- ・学生数増加によるA，Bクラス分け等の対応。

3. 評価基準

5	4	3	2	1
良	やや良	普通	やや不十分	不十分

4. 評価項目及び評価

I 教育理念・目標

項目	H27 評価	H28 評価	所見
①教育目標は、学生・学校の実態に即し、本校の目指す目標として適切であったか	4.4	4.0	<ul style="list-style-type: none">・分かるまで教育することは相当困難であった。・近年、低年齢化、低学力化が進んでいるように感じる。教育目標の意義をより強く理解する必要がある。・学生数の増加等に見合った指導体制が取れなかった。

②学校教育目標は、学生に周知され、学生生活を送る上での指針となっていたか	4.0	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・タバコのマナー違反が一部学生に目立った。 ・教員の意識に差がある。学生の指導にも差がある。 ・学生に対し十分周知されていたか疑問である。 ・入学後半年で目標を見失うものが多いように感じる。
③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4.1	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・将来構想は抱いているが、現実には厳しい。 時代のニーズを踏えている。 ・人事計画などが不十分だと思う。
④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.8	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・将来構想については、保護者には周知されていない。 ・概ね理解されていると考える。 単に大学進学が無理だから、その代りの場と認識されている様子。
平均	4.1	3.9	

II 学校運営

項目	H27 評価	H28 評価	所見
①本校の経営方針について共通理解が図られ、日々の教育活動に反映されていたか	3.8	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・共通理解が図られているものの、教育活動にやや反映されていない。 ・不十分だと思う。 ・概ね反映されていたと考える。
②学校運営は協働体制のもと、円滑に進められたか	4.0	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりに欠ける。 ・円滑に進められているとは思えない。
③学校行事は的確な計画・内容のもと、円滑に進められたか	4.8	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が理解していないと感じる。 ・概ね進められた。
④人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.1	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規定は整備されている。 ・整備されているのではないかと考える。
⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.9	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・システム整備の状況は分からない。

⑥ 業界や地域社会等に対する法令を遵守する体制が整備されているか	4.0	3.6	・体制の整備状況があまり解らない。
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4.0	4.1	・概ね適切に処理されていると考える。 ・ガイドラインに則り、HPで公開している。
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.8	3.6	・システムはかなり充実している。 ・業務体制が明確でない。 ・“Moodle”の導入で情報共有してはどうか。
平均	3.9	3.6	

Ⅲ 教育活動

項目	H27 評価	H28 評価	所見
① 教育課程（方針・内容）は、本校の教育理念・教育目標を適切に反映されたものであったか	4.4	4.0	・カリキュラム編成上、理解されていないと感じる。 ・教育目標を適切に反映された教育課程であるか若干疑問。
② 今年度の教育課程編成は、適切・効果的であったか	3.6	3.7	・概ね適切であったと考える。
③ 教科科目の学年配置や時数の配分は適切であったか	3.4	3.4	・日程の配置が偏りすぎて補習が生じ、かえって時間に余裕がない。 ・必ずしも適切であったとは思えない。情報処理の配置にかたよりのある。
④ シラバスの内容や使用教材は適切であったか	3.9	3.9	・使用教材の発行廃止に対する対策が必要と思える。
⑤ 授業は年間指導計画どおりに進めることができたか	4.3	4.1	・進めることのできないものもあった。
⑥ 少人数制教育による指導の成果が発揮されていたか	3.8	3.3	・現状は少人数制教育になっていない。 ・十分な指導時間が取れない。 ・指導の成果はあまりなかった。
⑦ 学生の理解度に合わせ、「よく分かる授業」の推進に努めたか	3.5	3.3	・学生の学力差が大きすぎる。 ・学生の理解度に差があるため困難である。
⑧ 成績不振者への対応は適切に行われていたか	3.5	3.5	・必ずしも十分な時間が取れたとは言い難い。 ・充分ではないが行った。

⑨学生による授業評価を学習指導の改善に役立てることができたか	3.8	3.7	・概ねできた。
⑩教科科目の評価・評定は適切に行われたか	4.3	4.1	・十分できたと考える。
⑪定期考査・追考査の実施(時期・時間等)は適切であったか	3.9	3.8	・再試時間が少なく、機械的な指導となった感が否めない。 ・概ね適切に処理できた。
⑫資格取得指導は適切・効果的に進められたか	4.5	3.7	・概ね適切に処理できた。 ・土木施工、測量士補の成果を100%にしたい。 ・集中講義外の学習と知識の定着。
⑬現場見学・インターンシップは適切・効果的に進められたか	4.5	4.2	・実家での実施は？ ・概ね適切に処理できた。 ・実習の事前指導と発表会の指導の充実を求める。
⑭学生へのマナー指導や社会性を身に付けさせる指導は適切に行われ、満足する状況にあるか	3.4	3.1	・学生との慣れあいが目につく。 ・適切な指導を行ったが、全体的には不十分であったと考える。 ・指導は行われているが、効果は今ひとつ。対応を再考する必要があるかも。
⑮学生個々の理解に努め、適切な指導が行われていたか	3.9	3.7	・充分行った。
⑯体育大会、学園祭等は学生主体のもと、その目的を達成できたか	4.5	4.1	・達成できたと考える。
⑰関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4.1	4.0	・概ね反映されていると考える。
⑱職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4.5	4.1	・概ね取り入れられている。
⑲人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.4	3.2	・不足している。 ・人数を問わなければ確保されていると考える。

			ギリギリの人員だと思う。欠員が出た場合の対応を強化すべき。
⑳ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4.3	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術的研修が不十分。 ・ 取り組まれていると考える。
平均	4.0	3.7	

IV 学修成果

項目	H27 評価	H28 評価	所見
①教育目標の達成度 (1) 基礎学力の向上	3.4	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標の理解が低い。 ・ 充分に対応できなかった。
②教育目標の達成度 (2) 専門の基礎知識・技術の習得	3.9	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の理解が不十分。 ・ 概ね達成できた。
③教育目標の達成度 (3) 社会人になるためのマナーと教養を身につける	3.6	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導する教員、時間が不足していると感じた。 ・ 指導が不十分。 ・ 概ね達成できた。 ・ マナーは学校だけの教育で身に付くものとは思えない。
④進学率や就職率の向上が図られているか	4.9	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的な状況によるところが大きい。 ・ 社会情勢の変化もあるが、図られていると考える。
⑤資格取得率の向上が図られているか	4.9	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取得率の向上には指導時間が不足していると感じた。 ・ 低下している。 ・ 充分対応した。 ・ 土木施工と測量士補（再試）が100%でない。
⑥退学率の低減が図られているか	3.9	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての学生に対応していない。 ・ 入選での選抜が不十分。 ・ 学生の資質低下もあり充分であったと思えない。

⑦卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・人数は把握しているが、全員は困難である。 ・個別にはわからない。 ・概ね把握している。
⑧卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.8	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・活用されていると考える。
平均	3.9	3.6	

V 学生支援

項目	H27 評価	H28 評価	所見
①進路指導は学生のニーズ・適性等に即し、適切に進められたか	4.1	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・充分に進められた。
②保護者との連携は密接・効果的に行われていたか	4.0	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね行われた。
③基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	4.0	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・自覚させることはできたが確立までは達成できていない。 ・行ったが充分ではなかった。
④学生の安全管理のための取組等が行われているか	4.3	4.1	<ul style="list-style-type: none"> ・行われている。 ・ガイドライン作成中。
⑤学生・保護者からの相談体制が整備されているか	4.0	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り行っている。 ・目安箱メールの開設。
⑥進学・就職指導に係る支援体制は整備されているか	4.3	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね整備されていると考える。 ・過去の受験報告書が担任管理なので、就職係管理にしてはどうか。
⑦学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね整備されていると考える。
⑧学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	3.9	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の体制がとれていない。 ・概ね整備されていると考える。
⑨課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・消極的である。 ・十分に整備されているとは思えない。 ・技能五輪など学生の自主性や積極性などに効果があった。

⑩学生の生活環境への支援は行われているか	3.1	3.0	・指導は行っている。
⑪卒業生への支援体制はあるか	3.1	3.0	・個別対応にとどまっている。 ・需要があれば行っている。 ・具体的に何を支援するか定まっているか疑問。
⑫社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.5	3.5	・概ね整備されていると考える。
平均	3.8	3.6	

VI 教育環境

項目	H27 評価	H28 評価	所見
①教室・実験室等の規模や配置は適切であったか	3.5	3.2	・学生数増加に伴い、やや手狭である。 ・学生の増加に対して余裕がない。 ・一部狭いと思えるものもある。 ・人数の変動があるので難しいが、バックアップ分の余裕が欲しい。 ・土木実験室が狭いので2班体制等工夫を行っていた。
②校舎内外の施設設備の充実、維持管理は適切であったか	4.3	3.8	・組織的には行われていない。 ・適切に行われていると考える。
③実験実習設備、機械類の整備・活用は適切であったか	4.1	3.6	・老朽化に対応する必要があると思います。 ・概ね適切であると考えます。
④蔵書を含めて図書閲覧のニーズに応えられていたか	4.4	3.9	・最新本がない。 ・応えられていると考える。
⑤情報機器の充実及び活用状況は適切であったか	4.3	4.1	・老朽化に対応する必要があると思います。 ・概ね適切であると考えます。 ・One Drive の活用。
⑥校舎は衛生的（清掃・美化）に管理されていたか	4.6	4.1	・学生から汚いと指摘があった。 ・一部でばらつきがある。 ・概ね適切であると考えます。

⑦防災に対する体制は整備されているか	4.4	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・非常階段など教員の理解徹底が不十分。 ・概ね適切であるとする。
平均	4.2	3.9	

VII 学生の受け入れ募集

項目	H27 評価	H28 評価	所見
①学生募集及び入学選考は、時代の変化、学生の実態に対応したものとなっていたか	4.1	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような学生を受け入れるのか、コンセンサスがでない。 ・実際に対応しているとする。 ・できる事は行われていると思うが、もう少しPR費用をかけても良い気がする。
②広報活動(体験入学を含む)の内容、方法、実施時期等は適切であったか	4.6	4.1	<ul style="list-style-type: none"> ・適切である。 ・適切に実施されているとする。 ・もう少しPR費用をかけても良い気がする。
③学納金は妥当なものとなっているか	4.6	4.2	<ul style="list-style-type: none"> ・学納金はもう少し高くても良いとう。 ・妥当とする。
平均	4.4	4.1	

VIII 財務

項目	H27 評価	H28 評価	所見
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4.3	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・現状から概ね安定しているとする。 ・職員にはよく解らない。
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.5	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・理解の範囲外である。 ・職員にはよく解らない。
③財務についての会計監査が適正に行われているか	4.5	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・理解の範囲外である。 ・職員にはよく解らない。
平均	4.4	3.8	

IX 法令等の遵守

項目	H27 評価	H28 評価	所見
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.7	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に行われているとする。 ・専修学校設置基準を守っている。

②個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4.3	4.0	・十分な対策が取られているとは思えない。
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4.4	4.1	・十分対応している。
④自己評価結果を公開しているか	3.6	3.8	・公開していると考える。 ・HPで公開している。
平均	4.2	3.8	

X 教育活動全体及び学生の実態について、昨年度と比較して良かった点・悪かった点

- ・昨年度に比べ、学生の受講態度に乱れがあったように思える。遅刻欠席も多かったのではないかと思います。
- ・今年は単位不取得者が4名出たことに対して、指導はしっかりしていたものの、今後はもっと工夫して落第しないように指導していきたい。
- ・学習意欲に欠けるものが増加傾向にある。入学選考基準を厳格化する必要がある。
- ・留年者が3名出た。いずれも企業委託生であった。入学選考で合格基準を厳しくする必要がある。
- ・教職員全体で学修、教育活動についての共通理解がされていないと思う。組織的な成果が出せていない。又は低下していると思う。
- ・本校の教育理念をもう少し厳しく指導すべきではないか考える。
- ・学生が自ら考え、行動する能力が低下していると感じる機会が増えた。もう少し自分で考える習慣を醸成できるような授業ができないか考えたい。
- ・マイスター制度の利用で教材費がおさえられ、学生の負担が軽減した。(造園緑地科)
- ・公務員合格の成果が上がった。
- ・土木施工管理の合格率が100%でないので、要改善。
- ・留年者が多かった。
- ・特試を学年末に行うことで
 - 学生にチャンスを与えられる。
 - 学年末まで学費を取るためと思われていないか？
- ・年間日程の取り方(新カリにて再来年度調整)